

分散登校を過ぎて

夏休みが明けて、さあ、というときからの分散登校。

しかも、慣れない仮設校舎での生活、20人クラスでの授業、部活動も制限され、徹底した黙食……とまどう生徒も多かったのではないかと思います。

そして、いよいよ全校での登校が開始されました。初日は、あいにくの雨でしたが、多くの生徒からの「おはようございます」の挨拶も爽やかで、学校に活気が戻ってきました。

制服を着て、学校に来て、クラスメートと何気ない会話をしたり、授業を受けたり、そんな「あたりまえ」がなんとうれしいことでしょう。そのことに気づかされたことは、「コロナ禍」だからこそかもしれません。「コロナ禍」は私たちから多くのものを奪っていきましたが、視点を変えればまた、与えられたこともあるように思います。

おうち時間が増えた、こういう時だからこそ、何かできることを見つけ、コツコツマイペースで「着実に努力」できた人は自己管理の大切さを実感していると思います。

人と直に会いにくい寂しさの、こういう時だからこそ、人との結びつきを実感し、どのような場面でも人に「優しく」接する価値を見いだせた人は、さらに一つ、人として「強く」なったと思います。コロナ感染症対策をしっかりすることは自分の周りにいてくれる人も守ることで、皆さんの「優しさ」と「強さ」が求められます。

高校での学校生活はまだまだこれから。山北高校には「面白い」ことの種がたくさんあります。ぜひ、皆さんの力で育ててください。

最後に

山北高校は皆さんが大人になるための階段でもあります。ペースはそれぞれでよいのです。人と比べることで焦ったり、心配したりすることはありません。皆さんは、自分の価値は自分で決められるのです。皆さんの存在そのもの、生きていることそのことが大きな価値です。

以前にも申しましたが、私は、山北高校が生徒皆さんの成長のステージであることに誇りを感じています。